

第 28 回
大橋よしひさ
町政報告会資料

とき 11月10日（土） 午前10時より

場所 中央公民館

I 会期

9月定例会日程（8/29～9/28）会期 31日間

II 一般質問

1. 授乳室・おむつ替えスペースの充実と周知を

公民館などの授乳室は、パーテーションで区切られたものが多く、プライバシーが守られていない。改善する必要があるのではないか。

Q: 現状と今後の課題は。

A: 公共施設を中心に 21 か所赤ちゃんの駅として登録している。

そのうち、町内の店舗の登録は 6 店舗である。

Q: 春日部市では、mamaro という個室設置型授乳室を設置している。リース料も月 2 万と低額であり、アグリパークなどでも設置する考えは。

A: アグリと相談したい。

Q: 情報を発信するのに、企業と協力するべきでは。

A: 活用できるように研究していきたい。

Q: 赤ちゃんの駅は公共施設が多いが、使う立場とすると土日は休みだったりするので使いにくい。民間のお店などの情報を

集めるべきではないか。

**A: 赤ちゃんの駅に関しては登録店を広めることをしてこなかった
ので、今後していきたい。**

Q: 杉戸に越してきた人にとっては、住所だけではわかりにくい。
地図のように一覧できるものが必要ではないか。

A: 来年度に向けて検討したい。

Q: お金がないから何もできないではなく、行政が子育て支援
に一生懸命になっている姿勢を見せることが重要ではない
か。

A: 自分なりに勉強したい。

2. 公共交通の今後は

現在暫定的に巡回バスを運行しているが、平成32年からの新システムへの移行に向け
て検討中である。現在の検討状況は。

Q: アンケートを行うようだが、どのように分析するのか。

A: 意見を確認し、今後の公共交通に役立てたい。

Q: 今ごろ行うのは遅いのでは。去年するべきでは。

**A: 巡回バス利用者の声を優先して確認したかった。今後につい
ては巡回バスの継続をしていきたい。**

Q: 今までこの問題を取り上げてきた結果、具体的にどのような調査をしたのか。

A: アンケートの分析、近隣自治体の動向、先進自治体の研究、巡回バスとデマンド交通の比較など。

Q: 巡回バスの継続という結論が出ているようだが、それで公平に意見が聞けるのか。デマンドの検討なんてしてないのではないか。

A: 近隣市町の動向を見るとデマンド交通の導入よりも巡回バスの継続が適切だと考える。

Q: 近隣市町の動向に関しては「調査」であり、「研究」ではない。いろいろ工夫をすることができるはずだ。デマンドは費用が掛かって利用人数が少なくなるからデマンドにしないというのは研究になっていない。

A: 福祉タクシー利用の助成制度などと色分けした感じでしていきたい。

Q: 巡回バスを充実したとしたら、また費用が高くなり、それこそデマンド交通と変わらなくなるのではないか。

A: 乗車率などを考えると、車両数がデマンドでは多く必要になる。

Q: 専門家に調査してもらうべきではないか。

A: 財政規模や自治体の規模を考えると、またその後の意見の反映などを考えると難しい。必要になればお願いしていきたい。

Q: 今こそ必要な時ではないか。専門家でもないののでどうして適切な判断を下せるのか。

A: 今後抜本的に見直しするときが来るので、その時を見計らって行いたい。

Q: タクシー事業者などとの話し合いは行ったのか。そして、デマンドを取り入れて実際タクシー会社の売り上げは減ったのか。そもそも行政としてタクシー会社と交通弱者なら、交通弱者の方に目を向けるべきではないか。

A: 今後タクシー事業者を交えた公共交通会議を開いていく必要がある。タクシー会社の売り上げについてはまだ調査をしていない。

まだ十分な調査がされていないことが明らかになりました。
到底納得できません！

② 議員一般質問

9月議会では、12人の議員が一般質問を行いました。

伊藤美佐子	1. SDGsを踏まえたESDについて 2. 防災対策のその後の進展は 3. 小中学校普通教室のエアコン設置に対する進捗状況は
須田恒男	1. 更なるエコ対策は 2. 可燃ごみ処理の広域化の取組は 3. これからのアグリパークゆめすぎと
大橋芳久	1. 授乳室・おむつ替えスペースの充実と周知を 2. 公共交通の行方は
森山哲夫	1. 「可燃ごみ処理に関する広域化協議」の申し入れについて 2. 杉戸町国保の現状と今後の運営等について
石川敏子	1. 待機児の解消を 2. 放課後児童クラブ職員の処遇改善を 3. 焼却ごみ減量の取組は
宮田利雄	1. 人口減少の対策は 2. 子育て日本一の取組と成果は 3. 小中学校のエアコン設置の進捗状況は
原田壽々子	1. 時代に即した防災行政無線の考えは

	<ul style="list-style-type: none"> 2. 町事業を行う際の住民説明は十分か 3. 町の危険な道路に対する対応は
平川忠良	<ul style="list-style-type: none"> 1. 学校施設・通学路の安全対策は 2. 熱中症対策は 3. AEDのさらなる普及拡大で安心を
阿部啓子	<ul style="list-style-type: none"> 1. 幼稚園・小中学校の普通教室にエアコン設置を 2. 巡回バスの運行の改善は 3. ブロック塀の倒壊から住民を守れ 4. 図書館運営の方向性は
仁部前崇	<ul style="list-style-type: none"> 1. 道路改良事業について 2. 外来種について
坪田光治	<ul style="list-style-type: none"> 1. セクハラ・パワハラへの対応は 2. 聖火リレーを杉戸町に 3. 洪水防止機能として「田んぼダム」を
勝岡敏至	<ul style="list-style-type: none"> 1. 町の洪水、水害被害の対応、対策について

ここが気になる！！

エアコンはいつ設置されるのか！？

いくらかかるかは9月末までに算出する予定。

以前の答弁では3億円近くかかるのではとしていた。

6月の設置に関する県の調査では、

できるだけ早い時期に設置する予定で、前倒しも可能と回答。

工事スケジュールの詳細については、現段階で具体的なことはいえない。

来年の夏の間には稼働させるためには、12月議会での議決が必要になる。

ゴミ処理の広域化について

今までは杉戸町の環境センターで幸手市と杉戸町の可燃ごみを焼却処理。

環境センターの老朽化などにより、15年で25億円かけて改修工事中。

衛生費に対する割合が高く、今後についてが課題だった。

久喜市が宮代町と協働でゴミ処理を行っていたが、

焼却炉の老朽化のため、旧菖蒲地区に新焼却炉を建設予定だった。

そこに杉戸町と幸手市も参加して処理をすることはできないかを依頼し、

検討することとなった。

Ⅲ 議案

3月議会では、人事、議案など33件を審議しました。

番号	議案名	結果
44	杉戸町公平委員会委員の選任について	同意
45～	杉戸町農業委員会委員の任命について	同意
59	財産の取得について(校務用パーソナルコンピュータ 204台)	可決
60	平成29年度杉戸町一般会計歳入歳出決算の認定について	可決
61	平成29年度杉戸町水道事業会計決算の認定及び剰余金の処分について	可決
62	平成29年度杉戸町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	可決
63	平成29年度杉戸町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	可決
64	平成29年度杉戸町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	可決
65	平成29年度杉戸町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	可決
66	平成30年度杉戸町一般会計補正予算(第3号)	可決
67	平成30年度杉戸町公共下水道事業特別会計補正予算	可決

	(第1号)	
68	平成30年度杉戸町国民健康保険特別会計補正予算 (第1号)	可決
69	平成30年度杉戸町後期高齢者医療特別会計補正予算 (第1号)	可決
70	平成30年度杉戸町介護保険特別会計補正予算(第2号)	可決
71	杉戸町税条例等の一部を改正する条例	可決
72	杉戸町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例	可決
73	杉戸町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例	可決
74	杉戸町重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例	可決
75	杉戸町障がい者生活介護施設条例の一部を改正する条例	可決
76	平成30年度杉戸町一般会計補正予算(第4号)	可決

ここが気になる！？

59 財産の取得について(校務用パーソナルコンピュータ 204台)

教務用パソコンは、ほとんどの自治体が教員 1 人に一台貸与している。

杉戸町の場合は県内で断トツの下位レベルにあった。

情報セキュリティーの面からも不安視されていた。

そこで今回1人一台所有されるよう議案が提案された。

75 杉戸町障がい生活介護施設デイケアかわせみの指定管理者制度導入

について

定員に達していないのに、入所依頼しても断られる。

このような状況が続いたため、指定管理制度を導入へ。

それと合わせて利用者の送迎制度を導入予定。

最初の三年間は最大で 300 万円の補助金を出すことに。

IV 全員協議会より

【 8月29日(水) 】

- (1) 平成30年7月豪雨に係る見舞金について
- (2) 生産性向上特別措置法に基づく導入促進基本計画について
- (3) 旧杉戸小学校跡地の有効活用策の検討について
- (4) 杉戸町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例について
- (5) 重度心身障害者医療費助成制度への所得制限導入について
- (6) 杉戸町障がい者生活介護施設デイケアかわせみの指定管理者制度導入について

【 9月13日(木) 】

- (1) 公益社団法人杉戸町シルバー人材センターについて

【 9月21日(金) 】

- (1) 平成30年度一般会計補正予算(第4号)の上程予定について

【 9月28日(金) 】

- (1) 感謝状授与制度の創設について
- (2) 埼玉東部消防組合消防局消防署所の合理化について

ここが気になる！！

旧杉戸小学校跡地の有効活用策の検討について

旧杉戸小学校跡地の活用については、

町長の夢として検討がされていたが、

今回具体的に検討委員会を立ち上げ活用策の検討に入った。

委員会の組織としては、

担当する課長などが参加し、副町長が長となった。

まず、業者の意見を募ることとなった。

公益社団法人杉戸町シルバー人材センターについて

シルバー人材センターが不正経理を行っていたことが判明。

来年度行う予定の業務を今年行ったように見せかけるなどして不正経理。

また、委託された業務を他課から発注あったとした。

その額合計約 223 万円。

今年度中に一括して返還されることとなった。

また、今後過去のものについても調査される。

埼玉東部消防組合消防局消防署所の合理化について

消防署所は現在 18 署所あるが、14 署所に再編する予定となっている。

今回、その案が明らかになり、杉戸町で影響されることでは、

宮代町にある中島出張所を閉所し、

その機能の一部を杉戸消防署に移行することで、

杉戸消防署の機能を強化させる。

中島出張所を廃止した場合の影響は、

幸手西分署の閉止した場合の影響と同じく比較的小さいものと考えられる。

ちなみに現在、入電から 6.5 分以内に救急者が到着するのは 92%である。